

第6次 茅野市総合計画

CHINO CITY MASTER PLAN

【概要版】



茅 野 市

第6次 茅野市総合計画 【概要版】

- 発行／令和6年11月 長野県茅野市
 - 企画・編集／茅野市役所 企画部企画課
- 〒391-8501 茅野市塚原二丁目6番1号
TEL.0266-72-2101
<https://www.city.chino.lg.jp/>



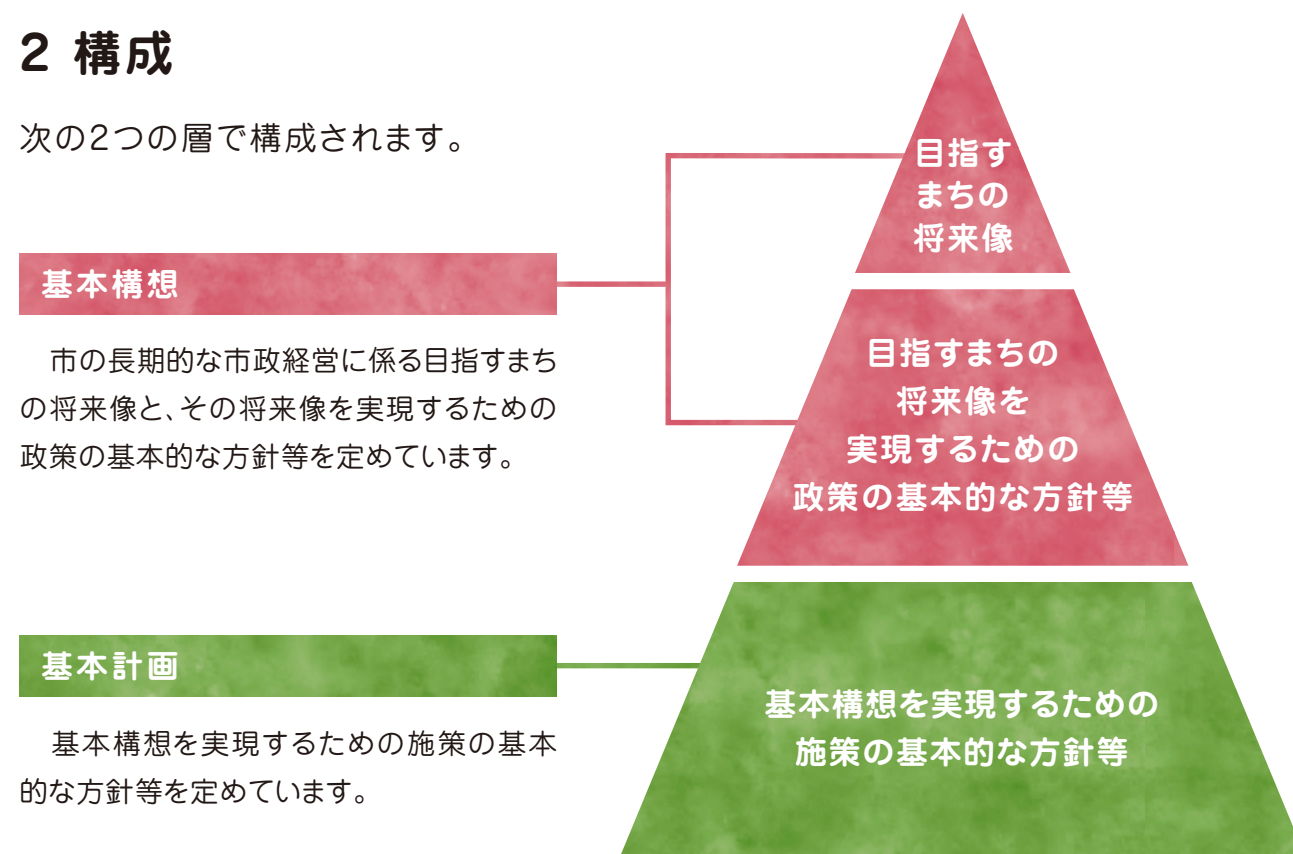
この計画について

1 位置付け・策定の趣旨

- 総合計画は、市民と行政が一緒に考え、策定し、実行する、市政経営に係る最上位の計画です。
- 目まぐるしい変化が予想される社会経済情勢への確に対応し、茅野市の強みをいかしながら、新たな手段や価値観を取り入れ、持続可能なまちの実現を目指すまちづくりの指針として策定したのが、第6次茅野市総合計画です。

2 構成

次の2つの層で構成されます。



3 計画期間

令和6年度(2024年度)から
10年度(2028年度)までの5年間です。



これからのまちづくりに必要なこと

茅野市の現状を、「強み」、「弱み」、「機会」、「脅威」の4つの要素で整理し、これからの茅野市のまちづくりに必要なこと(課題)を明らかにします。

まず、縄文文化以来、この地で育まれた学びを基本に、茅野市がこれまでのまちづくりにおいて、守り、育んできた大切なもの、そして、これからも、茅野市の「強み」としてまちづくりにいかしていきたいと考えているものを3つ挙げます。

● 3つの強み

八ヶ岳の豊かな自然環境と人々の交流

公民協働※の「パートナーシップのまちづくり」

「若者に選ばれるまち」実現を目指す人口減少対策

一方、茅野市を取り巻く環境の変化は、茅野市に様々な影響を及ぼしています。

- **脅威** 世界規模で大きく変化する社会経済情勢／世界規模の異常気象
人口減少・超高齢化の確実な進展
- **弱み(問題点)** 地域の人と人とのつながりの希薄化／地域経済の縮小／地域や産業を支える人材の不足
自然災害の多発化・激甚化／市財政の硬直化
- **機会(チャンス)** 「地方回帰」の新たな人の流れ／地方のDX(デジタルトランスフォーメーション)※の取組に対する国の支援／GX(グリーントランスフォーメーション)※への社会的気運の高まりと、取組に対する国の支援

こうした現状を踏まえて、茅野市の強みをいかし、「機会」(チャンス)を捉えながら、茅野市の「弱み」(問題点)を克服し、脅威に立ち向かうといった考え方にに基づき、これからの茅野市のまちづくりに必要なこと(課題)を、次のとおり整理します。

● 課題

人口減少下における持続可能な地域経営 公民協働のまちづくりの転換

多発化・激甚化する自然災害への対応

課題解決の手段としてのDXの推進 地域循環共生圏※の形成に向けたGXの推進

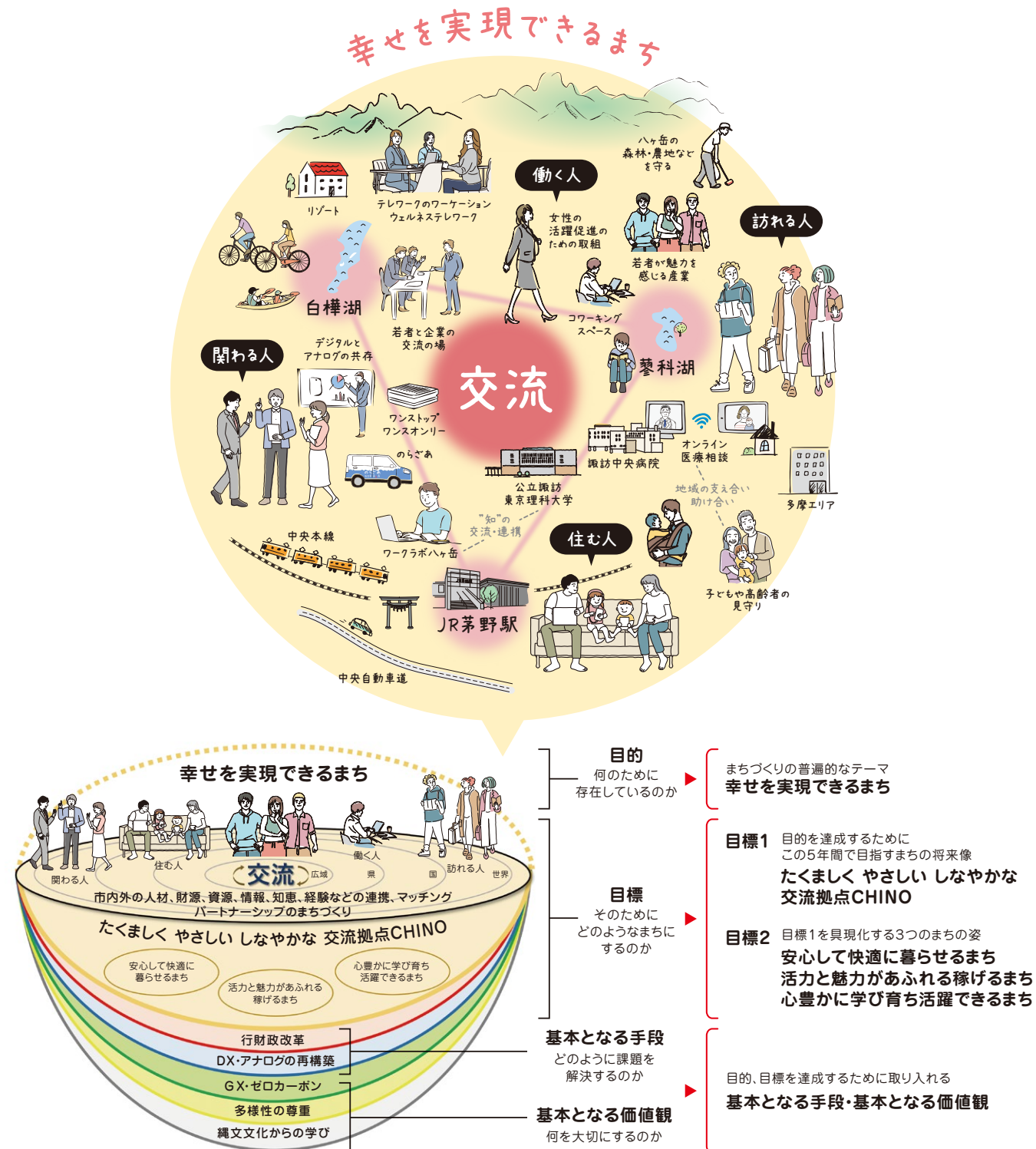
行財政改革※の推進

公民協働：市民、民間団体、事業者などと行政が同じ目的のために、連携・協力して取り組むこと。 DX：デジタル技術を社会に浸透させて、人々の生活をより良いものへと変革すること。 GX：民間事業者などとの連携により、脱炭素社会の実現と経済成長を同時に目指し、取組を推進すること。 地域循環共生圏：それぞれの地域が主体的に、自ら課題を解決し続け、得意な分野で互いに支え合うネットワークを形成していくことで、地域も国全体も持続可能にしていく「自立・分散型社会」のこと。 行財政改革：時代に沿った行政需要に的確に対応し、市民サービスのより一層の向上を図るために、組織、制度や行政運営のあり方を見直し、行財政運営の適正化・効率化を図っていくこと。

これからのまちづくりの考え方とイメージ

課題の解決に向けて、これからのまちづくりの普遍的なテーマ【目的】や、目指すまちの将来像【目標1】、3つのまちの姿【目標2】といった具体的なまちの姿と、こうした目的・目標の達成に向けて取り入れる手段・価値観、成果指標・目標などを基本構想としてまとめます。

これからのまちづくりのイメージは、次のとおりです。



目的、目標、基本となる手段・価値観については、次ページから定めます。

まちづくりの普遍的なテーマ 【目的】

茅野市を「**幸せを実現できるまち**」にすること。

なぜ今、幸せの実現がこのまちに必要なのでしょうか。

グローバル化※の進展により、世界規模の様々な変化が市民の生活に直接影響を及ぼす中、今後、ゼロカーボン※やSDGs※などの世界共通の目標達成や、人口減少・超高齢化の進展による地域の人手不足などの課題解決に向けたまちづくりを進める上で、市民一人ひとりの意識と行動が大きな意味を持ててきます。

ここで重要なキーワードになるのが、「幸福感」です。幸福感は、人に前向きさや向上心、人を受け入れよう、人や社会のために何かしようなどの気持ちを生み出してくれます。そして、人の「幸福感」を向上することで得られた心の豊かさは、まちの豊かさにつながり、より大きな幸せの連鎖を生み出します。その連鎖は、地域の課題解決のみならず、世界の目標達成にも大きく貢献するものになります。

こうした考え方から、茅野市に住む人、働く人、関わりのある人、茅野市を訪れる人など、あらゆる人が、自己実現を通じて、その人なりの幸せを実現できるまち、その幸せがまた別の誰かの幸せにつながっていくまち、そして、その幸せの連鎖が未来に向かって続いていくまち、茅野市を、そんな「幸せを実現できるまち」にすることを、まちづくりの目的とします。



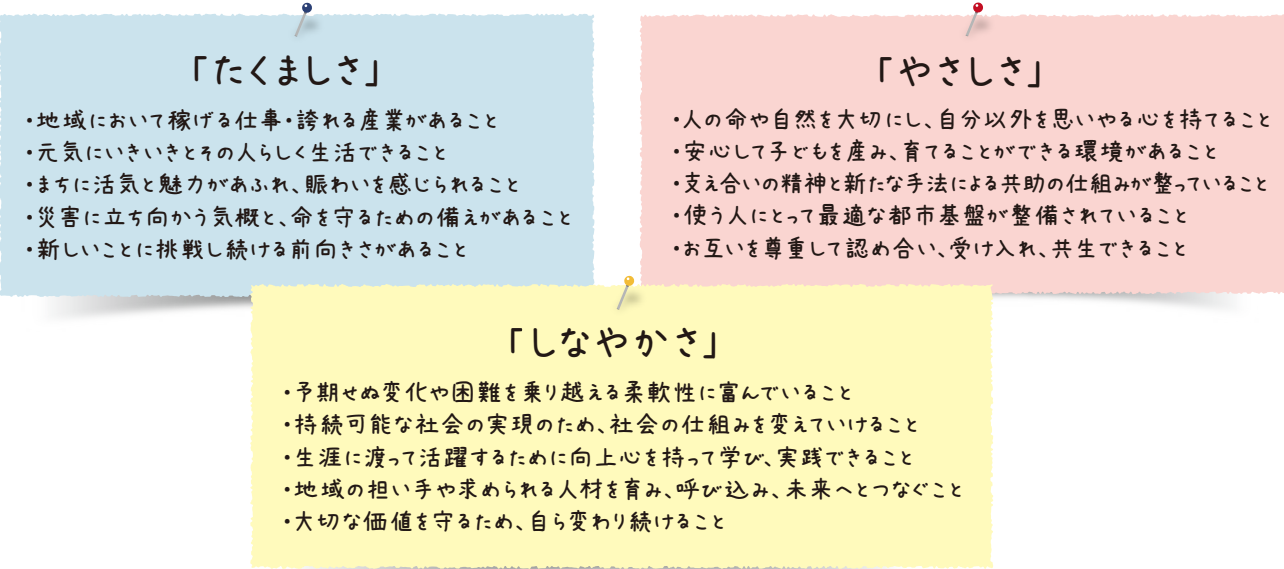
グローバル化：資本や労働力の国境を越えた移動が活発化するとともに、貿易を通じた商品・サービスの取引や、海外への投資が増大することによって、世界における経済的な結びつきが深まること。
ゼロカーボン：二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。
SDGs：令和12年（2030年）までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標のこと。17のゴールと169のターゲットから構成されている。

目指すまちの将来像 【目標1】

「たくましく やさしい しなやかな 交流拠点CHINO」の実現

目的を達成するために、この5年間で目指すまちの将来像を【目標1】とします。

まず、これまで茅野市がまちづくりで育んできたまちの「たくましさ」、「やさしさ」を基本に、これからは、目まぐるしい変化が予想される社会経済情勢へ柔軟かつ的確に対応するための「しなやかさ」を、これまで以上に意識していく必要があります。



そして、私たちが幸せを実現するための原動力は、多様な**交流**です。

**茅野市が考える
3つの交流**

1 交流 ～「若者に選ばれるまち」の実現～
市外からの人や企業の呼び込み、市内外での交流

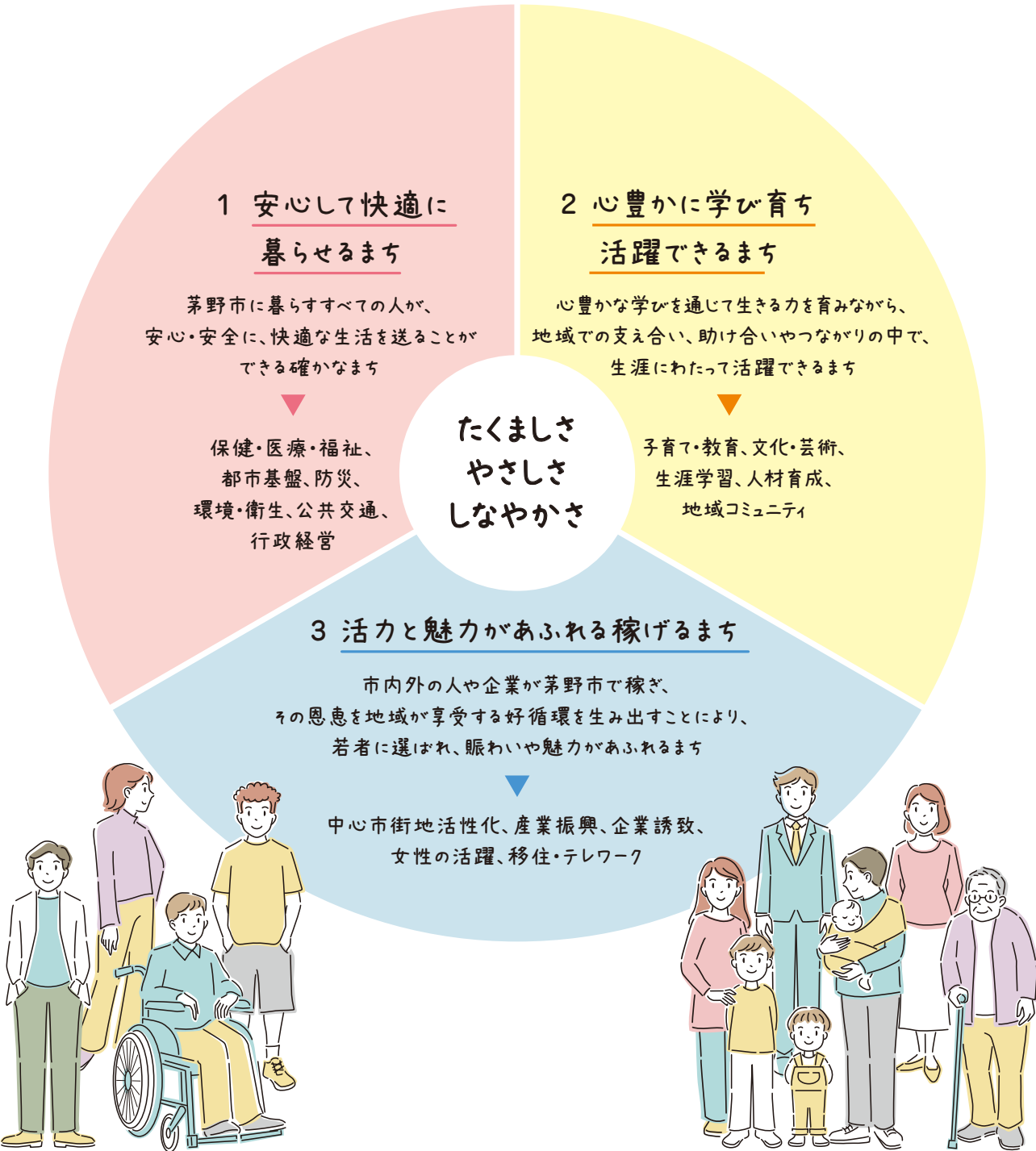
2 交流 ～地域における支え合い、助け合い～
市内（地域）における支え合い、助け合いなどの交流

3 交流 ～“知”の(CHINO)交流拠点の創出～
知識や知恵など目に見えない価値や資産の交流

人口減少・超高齢化が進む今だからこそ、交流を拡大し、これまで茅野市が培ってきた「たくましさ」、「やさしさ」、「しなやかさ」に、さらに磨きをかけ、新しい時代に対応した「幸せを実現できるまち」の創造を図ります。

3つのまちの姿 【目標2】

様々な交流の力を発揮し、まちの「たくましさ」、「やさしさ」、「しなやかさ」に磨きをかけるため、次の3つのまちの姿を【目標2】とし、「幸せを実現できるまち」の具現化を目指します。



「3つのまちの姿」のそれぞれに関係する分野を基本計画としてまとめ、「幸せを実現できるまち」のさらなる具現化を目指します（基本計画の全体イメージは、10p、11p）。

基本計画には、目指すまちの姿や成果指標・目標などを【目標3】として掲げ、その実現に向け、この5年間で重点的に取り組む具体的な施策や、その方針などを定めます。

基本となる手段・基本となる価値観

ここまでに掲げたまちづくりの普遍的なテーマ【目的】、目指すまちの将来像【目標1】、3つのまちの姿【目標2】の達成に向けた取組は、すべて次の「基本となる手段」と、「基本となる価値観」を取り入れながら進めます。

1 基本となる手段

(1) 行財政改革

デジタル技術などを取り入れながら、公民協働のまちづくりの仕組みや、行政内部の仕事のやり方、公共施設、行政サービスのあり方などを再構築します。

(2) DX・アナログの再構築

人の手が必要な部分をしっかり守りながら、置き換え可能な部分にデジタル技術を取り入れ、様々な仕組みや手順などを再構築します。

2 基本となる価値観

(1) GX・ゼロカーボン

2050年のゼロカーボン達成を見据え、自然災害の発生抑制、自然環境の保全などを通じて、安心、安全な暮らしと地域経済の活性化を同時に実現します。

(2) 多様性の尊重

あらゆる人が、お互いの考え方や生き方などを尊重し、それぞれの個性や能力を発揮できる環境を整え、さらなる交流の促進を図ります。

(3) 縄文文化からの学び

市内に多数存在する縄文時代の文化遺産を通じた多くの学びにより、現代社会が抱える様々な課題を解決に導く「価値」を見出します。

まちづくりの3つのポイント

時代の変化に対応して、市民と行政が一緒にまちづくりを進めるための3つのポイントを、以下のとおり定めます。

1 目的志向

～ゴールから考える～

目的、目標の達成のために、必要なこと、不要なこと、変えること、変えないことなどを考えます。

2 未来志向

～未来への種まき～

10年後、20年後の茅野市の未来のために、今できること、これから5年間でできることなどを考えます。

3 自分ごと化

～自分がつくる みんなの茅野市～

目的、目標の達成のために、未来の茅野市のために、それぞれの立場でできることを考え、行動します。

まちづくりの3つの成果指標と目標

まちづくりにおける最上位の成果指標（KGI:重要目標達成指標）を次の3つとし、それぞれ目標を定めます。

1 将来展望人口

総合計画に位置付けた人口減少対策の効果を見込んで茅野市が独自に推計した将来展望人口に基づく指標

目標

5年後(令和10年度(2028年度)) 55,000人以上
10年後(令和15年度(2033年度)) 55,000人維持

2 生産年齢人口の割合

年少人口(0～14歳)、生産年齢人口(15歳～64歳)、老年人口(65歳以上)の年齢3区分のうち、主にまちづくりの中核を担う生産年齢人口の割合の指標

目標

5年後(令和10年度(2028年度)) 55%以上
10年後(令和15年度(2033年度)) 55%維持

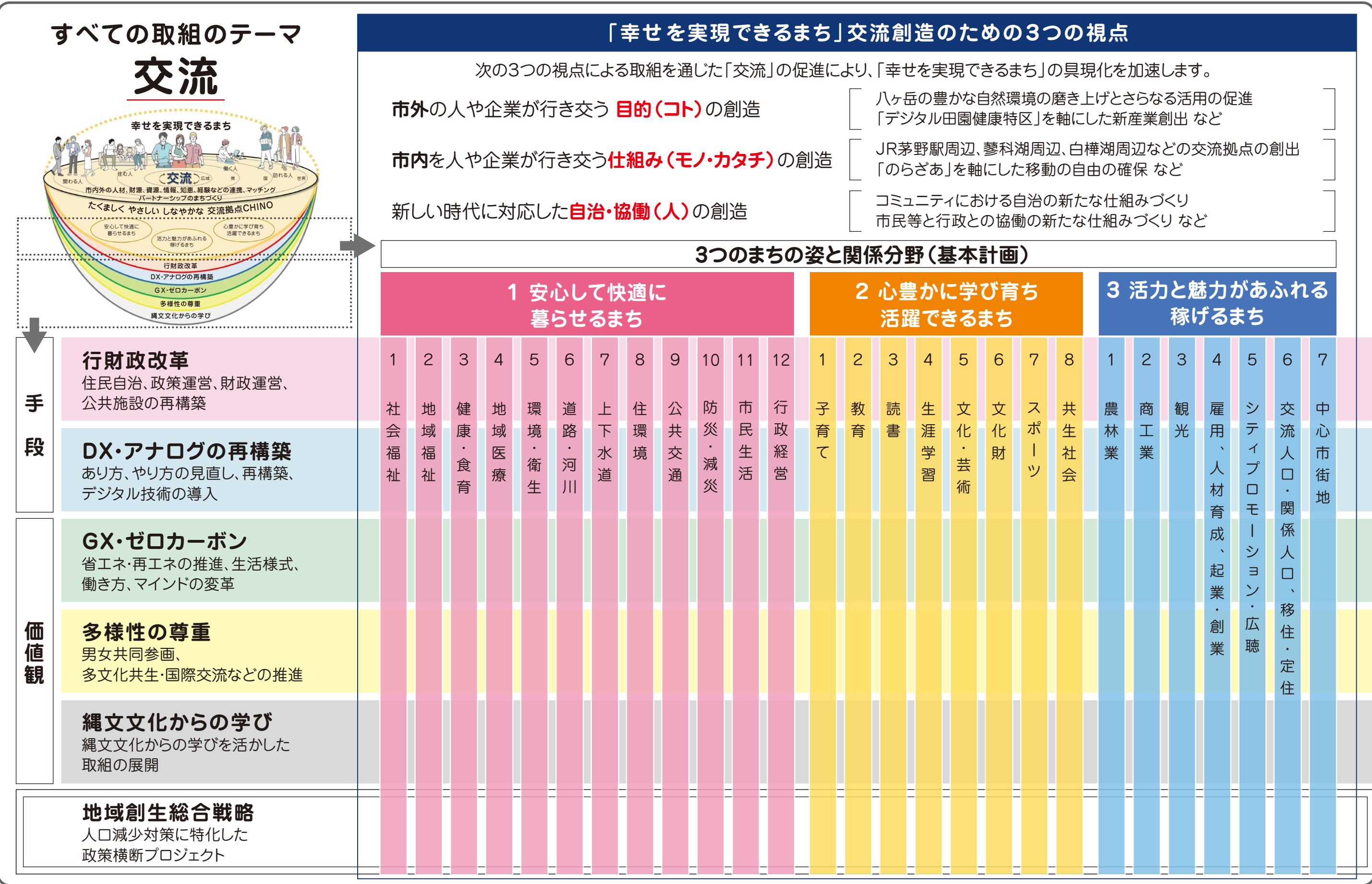
3 市民意識調査における「幸せ」と感じる人の割合

国が示す「well-Being」(地域幸福度)の考え方にに基づき毎年市が実施する市民意識調査の「あなた自身の幸福度」の設問において、0(とても不幸)から10(とても幸せ)までの11段階の数字のうち、5を選んだ人を、幸せ又は不幸のどちらでもない状態とし、6から10までの数字を選んだ人の割合の指標

目標

57.2%(令和4年度(2022年度))を基準に、
5年後(令和10年度(2028年度))にこの割合を上回ること

基本計画の全体イメージ



3 3つのまちの姿
活力と魅力があふれる
稼げるまち

6 関係分野（基本計画）
交流人口・関係人口、移住・定住

SDGs



目標3

目指すまちの姿

- 自然環境をいかした安全・安心で、にぎわいのあるまち

実現したい交流
大切にしたい交流

- 市外の方が観光などで訪れることによる市民との交流
- 田舎暮らし楽園信州ちの協議会や長野県、県内市町村、市内企業などとの連携による、交流人口・関係人口の増加を促す取組の推進

成果指標と目標

- 物件見学ツアー年間参加人数
（現状 R5年度88人（うち、40代以下20人））
目標値（R10年度末） 100人（うち、40代以下30人）
- 地域ブランド調査全国順位（認知度）
（現状 R5年度 583位）
目標値（R10年度末） 483位
- 転入者数（現状 R5年度 2,106人）
目標値（R10年度末） 2,106人

Well-Being指標と目標
（市民意識調査）

- 茅野市には、若者が活躍しやすい雰囲気がある（10.0%）
- 茅野市には、適切な収入を得るための機会がある（10.7%）
- 茅野市では、適度な費用で住居を確保できる（31.1%）

現状と課題 ▶ 重点施策、施策の方針等

茅野市の強み

- ハヶ岳、蓼科、白樺湖、車山高原、縄文といった多くのPRポイント
- 夏場は湿度が低く過ごしやすい気候
- 首都圏、中京圏から車、電車で2時間から3時間の立地
- コワーキングスペース「ワークラボハヶ岳」
- 田舎暮らし楽園信州ちの協議会の活動

交流人口・関係人口の創出

1-5 環境・衛生 1-9 公共交通 3-3 観光
3-4 雇用、人材育成、起業・創業 3-5 シティプロモーション、広聴
3-7 中心市街地 総合戦略

- 人口減少・超高齢化が進展する中、まちの活性化を図るため、若者を中心とした多くの人や企業を市内に呼び込み、まちの稼ぐ力の強化につなげていく必要があります。
- ▶ 茅野市の強みであるハヶ岳の豊かな自然環境を軸にしたシティプロモーションを、地域を絞って展開することでより効果を高めることや、都心部の企業にウェルネス※などの新たな視点でアプローチし、他の地域とできる限り差別化を図りながら市外から人を呼び込み、茅野市との接点を創ります。
- ▶ 常に、社会（人や企業等）の様々なニーズを的確に把握し、豊かな自然環境などの茅野市の強みの活用を視野に入れながら、交流を促進する取組を検討していきます。
- ▶ また、協定の締結やイベントの共催など、茅野市と関わりのある自治体・企業などとの協力・連携体制を新たな交流の促進につなげる取組も検討していきます。

移住・定住の促進

1-5 環境・衛生 1-8 住環境 1-9 公共交通
2-1 子育て 2-2 教育 3-4 雇用、人材育成、起業・創業
3-5 シティプロモーション、広聴 3-7 中心市街地 総合戦略

- 移住希望者が若年齢化する中、移住に求めるものが変化してきており、移住希望者のニーズに合ったセミナーなどの開催が不可欠です。
- ▶ 近年増加傾向にある若年層の移住希望者が求める就業先とのマッチングに対応するなど、より高い確度で茅野市への移住につなげる取組を進めます。

行財政改革

- ふるさと納税を通じたさらなる寄附金の確保

多様性の尊重

- 移住希望者のニーズは様々であり、それぞれの多様性を尊重し、移住希望者に寄り添いながらニーズに対応します。

主な事業

- 地域創生推進事業
- 物件見学ツアー、セミナーなどの開催
- 移住体験住宅の提供

関連計画等

- 茅野市行政経営基本計画
- 茅野市産業振興ビジョン
- 茅野市建設産業振興ビジョン

ウェルネス：身体的、精神的、社会的に健康で充実した状態にあること。

1 総合戦略について

- 総合戦略は、総合計画の施策や事業のうち、人口減少対策に特化し、分野横断的に効果を発揮するものを位置付けた行政計画です。
- 茅野市では、国の「まち・ひと・しごと総合戦略」を踏まえ、平成27年度に第1次総合戦略を策定し、その流れを継承し、現在、第2次総合戦略に基づき取組を進めています。
- 総合戦略の進行管理については、国の考え方にに基づき、産学官金労言などの関係者からなる有識者会議で行っています。

2 第2次総合戦略が目指すまちの姿

- 第2次総合戦略のテーマは「若者に選ばれるまち」の実現です。
- 若者をまちに呼び込むことにより、経済の活性化や生活サービスの充実、市民の負担軽減につながり、結果として子どもから高齢者まで、すべての市民にとって便利で快適な暮らしやすいまちになるという考え方にに基づき、魅力ある仕事づくりや、子育てのしやすい環境づくり、便利で安全なまちづくりなど、若者の移住・定住を促す環境づくりに取り組んでいます。



7 茅野市地域創生 総合戦略の概要



- 1 総合戦略について
- 2 第2次総合戦略が目指すまちの姿
- 3 第6次総合計画との関係性
- 4 第2次総合戦略の施策展開における
第6次総合計画（基本計画）の位置付け

- 総合戦略は、総合計画の施策や事業のうち、人口減少対策に特化し、分野横断的に効果を発揮するものを位置付けた行政計画です。
- 茅野市では、国の「まち・ひと・しごと総合戦略」を踏まえ、平成27年度に第1次総合戦略を策定し、その流れを継承し、現在、第2次総合戦略に基づき取組を進めています。
- 総合戦略の進行管理については、国の考え方にに基づき、産学官金労言などの関係者からなる有識者会議で行っています。

2 第2次総合戦略が目指すまちの姿

- 第2次総合戦略のテーマは「若者に選ばれるまち」の実現です。
- 若者をまちに呼び込むことにより、経済の活性化や生活サービスの充実、市民の負担軽減につながり、結果として子どもから高齢者まで、すべての市民にとって便利で快適な暮らしやすいまちになるという考え方にに基づき、魅力ある仕事づくりや、子育てのしやすい環境づくり、便利で安全なまちづくりなど、若者の移住・定住を促す環境づくりに取り組んでいます。



7 茅野市地域創生 総合戦略の概要



- 1 総合戦略について
- 2 第2次総合戦略が目指すまちの姿
- 3 第6次総合計画との関係性
- 4 第2次総合戦略の施策展開における
第6次総合計画（基本計画）の位置付け

3 第6次総合計画との関係性

● 総合戦略と総合計画は、共通した課題に人口減少対策を掲げており、2つの計画が相互に作用し合いながら、政策、施策の効果を高める関係性にあります。その関係性を以下のとおり整理します。

● 第1次総合戦略からの継続的な「しごとをつくる」取組の推進

→ 第6次総合計画におけるまちの「たくましさ」や「活力と魅力があふれる稼げるまち」の推進につながります。

● 「若者に選ばれるまち」の実現に向け、市外の人や企業を市内に呼び込む流れ（茅野市を知り、訪れ、通い、住む）を意識した基本目標の設定と関連する取組の推進

→ 第6次総合計画における「交流」の促進につながります。

● 10年後、20年後の「未来都市・茅野」を見据えた、データとデジタル技術の活用による先進的なまちづくりの取組の推進

→ 第6次総合計画を推進するための基本的な手段に「DX・アナログの再構築」を位置付け、より多くのまちづくり分野にDXを展開することとしています。



4 第2次総合戦略の施策展開における第6次総合計画（基本計画）の位置付け

第2次総合戦略の5つの基本目標における施策の展開と、第6次総合計画の基本計画における施策の展開を関連付け、一覧で示すとともに、第6次総合計画の基本計画の該当施策には、第2次総合戦略に関連したものであることをアイコンで表示しています。

第2次茅野市地域創生総合戦略		第6次茅野市総合計画 基本計画
基本目標	施策	関連する主な施策
基本目標1 知りたい、訪れたいまちをつくる	(1) 茅野市の認知向上に向けた情報発信	3-5 シティプロモーション・広聴（戦略的な情報発信の推進）
	(2) 観光の活性化に向けた環境整備	1-9 公共交通（地域内公共交通の構築） 2-6 文化財（尖石縄文考古館の充実、縄文史跡等の整備・活用の推進） 3-3 観光（観光振興の推進） 3-7 中心市街地（JR茅野駅西口エリア活性化の推進）
	(3) 茅野市への来訪に向けた誘客促進	3-3 観光（観光振興の推進） 3-6 交流人口・関係人口、移住・定住（交流人口・関係人口の創出）
基本目標2 通いたい、帰りたいまちをつくる	(1) 関係人口の増加に向けたつながりの創出	3-3 観光（観光振興の推進） 3-4 雇用、人材育成、起業・創業（起業・創業の促進） 3-6 交流人口・関係人口、移住・定住（交流人口・関係人口の創出）
	(2) 地域への愛着や誇りの醸成	2-1 子育て（居場所づくりの推進） 2-2 教育（育ちと学びをつなげる取組の推進、次世代を担うひとづくりの推進） 2-3 読書（ことばとところを育てる読書活動の推進） 3-4 雇用、人材育成、起業・創業（起業・創業の促進） 3-5 シティプロモーション・広聴（戦略的な情報発信の推進、広聴の充実）

第2次茅野市地域創生総合戦略		第6次茅野市総合計画 基本計画
基本目標	施策	関連する主な施策
基本目標3 移り住みたい、住み続けたいまちをつくる	(1) 魅力ある雇用・産業の創出	3-2 商工業（商業振興の推進、工業振興の推進） 3-4 雇用、人材育成、起業・創業（市内企業への就業の促進、起業・創業の促進）
	(2) 就労支援と労働環境の整備	2-1 子育て（居場所づくりの推進） 3-1 農林業（農業振興の推進） 3-4 雇用、人材育成、起業・創業（市内企業への就業の促進、人材育成の推進、起業・創業の促進）
	(3) 移住・定住情報の発信や住まいの支援	1-8 住環境（空き家の増加抑制と活用の促進） 3-5 シティプロモーション・広聴（戦略的な情報発信の推進） 3-6 交流人口・関係人口、移住・定住（移住・定住の促進）
基本目標4 安心して出産・子育てができるまちをつくる	(1) 結婚・妊娠・出産の切れ目ない支援	2-1 子育て（保健・福祉事業の充実）
	(2) 安心して子育てができる環境の整備	2-1 子育て（子ども・家庭への支援の充実、保健・福祉事業の充実、居場所づくりの推進） 2-2 教育（親育ちの推進、育ちと学びをつなげる取組の推進、次世代を担うひとづくりの推進） 2-3 読書（ことばとところを育てる読書活動の推進）
	(3) 子育て世帯への経済的支援	2-1 子育て（子ども・家庭への支援の充実、保健・福祉事業の充実）
基本目標5 安心・安全、快適なまちをつくる	(1) 暮らしやすい環境の整備・充足	1-9 公共交通（地域内公共交通の構築） 1-12 行政経営（市民サービスの質の向上） 3-7 中心市街地（JR茅野駅西口エリア活性化の推進）
	(2) 地域で支え合う安心・安全なまちづくり	1-1 社会福祉（地域を基盤とした自立生活の支援） 1-2 地域福祉（日常生活支援の充実・地域の支え合いの促進、地域の支え合いの促進、災害時の対応の拡充） 1-4 地域医療（医療提供体制の充実） 1-5 環境・衛生（良好な自然環境の確保、低炭素型まちづくりの推進） 1-10 防災・減災（災害時等の迅速かつ的確な対応の確立）

第2次茅野市地域創生総合戦略		第6次茅野市総合計画 基本計画
基本目標	施策	関連する主な施策
横断的施策 5つの基本目標の達成に向けて横断的に取り組む施策	(1) 茅野版DMO支援による新たな交流の創造	3-3 観光（観光振興の推進）
	(2) コワーキングスペースの活用による新しい働き方の創出	3-4 雇用、人材育成、起業・創業（市内企業への就業の促進、起業・創業の促進） 3-6 交流人口・関係人口、移住・定住（交流人口・関係人口の創出）
	(3) 防災・見守りへの先端設備活用連携事業の推進による新たな産業の創出	3-2 商工業（工業振興の推進） 3-4 雇用、人材育成、起業・創業（市内企業への就業の促進、起業・創業の促進）
	(4) 多様な学び場の提供による子どもの豊かな生き方の創造	2-1 子育て（居場所づくりの推進） 2-2 教育（次世代を担うひとづくりの推進） 2-3 読書（ことばとところを育てる読書活動の推進） 2-4 生涯学習（郷土の自然・文化や歴史に触れ、科学に親しむ機会の充実） 2-6 文化財（「縄文を識る」取組の推進） 3-4 雇用、人材育成、起業・創業（市内企業への就業の促進、起業・創業の促進）
	(5) JR茅野駅を基点に都市部と地方を人が行き交う環流の創造	3-3 観光（観光振興の推進） 3-7 中心市街地（JR茅野駅西口エリア活性化の推進）
	(6) 暮らしやすい未来都市・茅野の構築	1-9 公共交通（地域内公共交通の構築） 3-2 商工業（工業振興の推進） 3-4 雇用、人材育成、起業・創業（市内企業への就業の促進、起業・創業の促進）